

平成30年度に向けた改善策(事務局案)

平成29年11月14日
湖西市市民協働課

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

【公共交通軸】

○東海道本線・天竜浜名湖線・浜名線

(改善提案)

現行サービス水準での運行を継続する。

○県境を越える新設路線

(改善提案)

近隣市町、事業者との情報交換を実施する。路線再編に併せた検討を行う。

【拠点内巡回・拠点アクセス】

○コーちゃんバス

- ・現行サービス水準での運行、路線の再編、運賃体系の見直し

(改善提案)

- ①平成31年度に向けた路線再編の検討を行う。
- ②路線維持の基準として“1便当たり乗車平均2人/日”を検討していく。

○自主運行バス浜名線(入出新所鷲津線)

- ・現行サービス水準での運行、路線の再編、運賃体系の見直し

(改善提案)

入出新所鷲津線として、コーちゃんバスの運行形態に統一して運行を継続する。JRやコーちゃんバスの他路線との乗り継ぎに配慮したダイヤを検討する。

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

【地域フィーダー】

○導入検討路線

- ・導入に向けた検討、実証実験、本格運行

(改善提案)

- ①地域フィーダー導入に向けた地域の意向を確認する。(知波田地区)
- ②白須賀地区の実証実験結果を評価、路線再編に向けた地域の意向を確認する。

【タクシー】

○公共交通としての機能・役割に応じた適正なサービスの提供

(改善提案)

- ①サービス水準を維持して運行を継続する。
- ②タクシー事業者と情報交換を実施し、連携を強化する。

【乗継環境の整備】

- ・乗継拠点や主要なバス停での乗継利便性の向上

(改善提案)

- ①乗継案内チラシなど継続した情報提供を行う。
- ②高齢者などに配慮した乗継時間(ダイヤ)の設定を行う。

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

【公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業】

・バス停の案内表示の多言語化

(改善提案)

主要なバス停(新所原駅、鷺津駅、新居町駅など)においてわかりやすく、多言語での案内表示を実施する。聞き取り等により、運転手から外国人の利用状況を把握する。

・公共交通マップの見直し

(改善提案)

路線再編などの時期を踏まえて、公共交通マップを企画・作成・見直しを実施する。

・バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し

(改善提案)

作成する時期において、“簡潔でみやすいこと”や“説明が丁寧で理解しやすいこと”等のバランスを踏まえて作成する。

・主要施設や主要バス停でのロケーションシステムの検討

(改善提案)

実施に向けた検討を行う。

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

【公共交通の利用を誘導する事業】

- ・バスの一日乗り放題券等の企画乗車券の導入

(改善提案)

片道定期券を平成29年度に実施し、継続して利便性を向上させる。

- ・天竜浜名湖線の小学生入学祝記念乗車券・敬老記念乗車券の発行

(改善提案)

費用対効果の検証を実施する。

- ・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催

(改善提案)

今年度実施した、総合学習の機会に合わせた乗り方教室等を継続実施する。

- 公共交通利用促進のための動機づけ資料の作成、モビリティマネジメントの実施

(改善提案)

平成29年度は、入出地区において実施し、平成30年以降は公共交通に利用転換を促すチラシなどを作成し、各種イベントなどで配布、情報提供を実施する。

- 免許返納者の優遇

(改善提案)

平成29年度に開始した運転免許証自主返納等無料乗車券制度(2年間のバス無料券)を継続して実施する。また、バスに乗れば良い事があるとの積極的な施策や情報提供を実施する。

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

・観光振興のための公共交通利用促進策の実施

(改善提案)

実施に向けて、観光モデルルート設定の検討をコーちゃんバスを上手に利用する会と協力して実施する。

【バスへの愛着を高める事業】

・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施

(改善提案)

実施に向けて、商業施設との調整を行う。

・バス停オーナー制度の継続実施

(改善提案)

継続実施する。(H30年度に2件増加予定)

・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化等

(改善提案)

- ①バス停ベンチ等の設置はじめとする、協力団体との情報交換や連携を強化する。
- ②乗継利便性の案内チラシの配布や各種利用促進をはじめ、継続して実施する。

・夏休み小学生50円バスの継続実施等

(改善提案)

- ①より効果が上がるように、前もって情報提供するなど継続して実施する。
- ②東三河地区との協力関係を継続する。

形成計画に基づく、平成30年度に向けた改善策について

- ・ 交通事業者と連携した取り組み

(改善提案)

バスの日イベントで啓発活動を協力して実施している。今以上に市内の公共交通事業者との情報交換、利用促進の連携・協力体制を維持、継続していく。

- ・ コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み

(改善提案)

利用者目線での改善提案や利用促進活動を継続していく。“利用促進の改善策で後述”)

【多様な主体による取り組み】

- ・ 湖西市地域公共交通会議の継続的開催

(改善提案)

継続して実施する。

- ・ 湖西市バス運行評価改善委員会の継続的実施

(改善提案)

継続して実施する。

- ・ コーちゃんバスを上手に利用する会の継続的開催

(改善提案)

継続して実施する。

路線別の評価・改善策について

・コーちゃんバス全般について

(評価できる点)

運転免許証自主返納等をした方に対し、コーちゃんバス、自主運行バス浜名線の無料乗車券を発行している。バスの利用促進や交通事故防止の施策のひとつとなっている。

人口減少などの状況下においても市内のバス利用者を維持している。平成28年度102,054人→平成29年度102,789人。今後は、高齢者や通勤に、より使えるようPRを行っていく。

(改善提案)

湖西市地域公共交通網形成計画で抽出した課題を基本方針に沿って解決していく。

路線維持の基準として“1便当たり乗車平均2人/日”を検討していく。また、片道だけしか利用できない利用者に対する救済・優遇措置(例：片道定期券)を取り入れることで、利用者の維持や増加につなげる。

・白須賀新居鷲津線

(評価できる点)

乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域フィーダーの検討を行い、実証実験(デマンド型交通)を実施する。

(改善提案)

冗長な路線であることから、地域住民の移動ニーズや実態を把握し、路線改善(乗り継ぎの見直しなど)を行う必要がある。

路線別の評価・改善策について

・白須賀鷺津線

(評価できる点)

平成28年度と比較し利用者が前年比9.8%増加している。13,829人→15,179人(+1,350人)

・白須賀岡崎線

(評価できる点)

乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域フィーダーの検討を行い実証実験(デマンド型交通)を実施する。

平成28年度と比較し利用者が前年比11.7%増加している。9,874人→11,027人(+1,153人)

(改善提案)

白須賀元町地区からの新所原方面への移動のため、白須賀新居鷺津線との接続を改善する必要がある。

・岡崎循環線

(改善提案)

利用者は昨年度よりも更に減少。知波田地区や入出地区からの病院利用が主目的である。企業に対する利用の呼びかけや、路線の維持に関する地域の意向を確認する。

・岡崎鷺津線

(評価できる点)

平成28年度と比較して利用者が前年比6.9%増加している。14,771人→15,790(+1,019人)
路線全体を通して利用がある路線である。

路線別の評価・改善策について

・ 知波田鷺津線

(評価できる点)

日ノ岡での乗継環境を改善した。J A湖西北支店での乗継環境が維持、継続されている。

(改善提案)

1便の通学以外の利用があまりない。J R鷺津駅への通学通勤の利用ニーズを把握し、利用促進の検討をする必要がある。

・ 鷺津循環線

(評価できる点)

鷺津地区の住民の移動手段として利用されている。

(改善提案)

東回りに比べ、西回りの利用状況がどの時間も概ね低いのが目立つことから、利用者のニーズに基づいて、運行ダイヤやルートの見直しが必要。

・ 浜名線

(評価できる点)

入出地区から鷺津地区への移動の手段として定着しており、路線の維持のためコーちゃんバスへ移行し、併せて利用促進策を実施していく。

日ノ岡下の南交差点の乗り継ぎ時における安全確保のため、10月から運行経路とバス停留位置の変更を実施した。

その他(利用促進など)の評価・改善策について

・利用促進に対する評価

(評価できる点)

コーちゃんバスを上手に利用する会を発足し、利用者目線での改善提案や利用促進活動を実施した。地域住民が自ら交通を考える場を設ける一歩となった。

バスなどを利用する機会の少ない小学生を対象に、小学校の総合学習の機会に、コーちゃんバスを上手に利用する会と協力して市内4カ所で乗り方教室を実施した。

昨年から継続して東三河50円バス実行委員会と連携し、県を跨いで隣接市と協力した利用促進を実施した。

(改善提案)

コーちゃんバスを上手に利用する会の会員と協力して、様々な利用促進事業の実施によって多くの人に公共交通に関わって頂く。今年度実施した、実際に乗車してもらった上での路線改善に向けた検討やミーティングを継続し、利用促進策のひとつとして、小学生等を対象にコーちゃんバスを利用した工場見学ツアー等の検討を実施する。

また、公共交通に関するわかりやすい情報提供のため、コーちゃんバスのホームページ等の充実を図る必要がある。

・その他

(評価できる点)

バス運行事業者(運行管理者)は、運転手が利用者から聞き取りした内容や現場で感じた意見、運行状況などを取りまとめ、毎月、市に報告書を提出して改善につなげている。

遠州鉄道浜名線の評価・改善策について

・遠鉄バス浜名線(湖西市系統)に対する評価

(評価できる点)

新居小学生の登下校便は、継続して利用されている。

収支改善のために下り便の一部区間(西鷲津、本興寺前、湖西市民会館)を降車専用とし効率的運行を図った。

(改善提案)

日中の通学以外の利用者が減少傾向にあることから、運転免許証返納者に対する割引制度を積極的にPRし、路線を維持継続していく。

・利用促進に対する評価

(評価できる点)

バスの日イベントを実施した際にバス利用を啓発するためのチラシを協力して配布し、利用を呼びかけ、市内の公共交通事業者としての連携を高めた。

市コミュニティバスや自主運行バスとの乗継に配慮した。

湖西市高齢者バス券の利用に協力実施している。

異業種の遠鉄トラベル湖西店で乗車券販売を行っている。(ナイスパスや定期、回数券)